



## 彼女たちが狙われやすい理由

### ◆「判断力の弱さ」につけこまれる

いわゆる痴漢は、きれいでかわいい女性を狙っているわけではありません。抵抗されそう、騒がれそう、反撃されそうな人は狙いません。騒がれたらまずいわけですから、当然といえば当然です。犯罪者たちが狙うのは、言いなりになりそうな女性。彼女たちにはいい餌食なわけです。彼女たちが狙われやすい理由は、次のようなものです。

- ・ 知識や情報の不足
- ・ 言語コミュニケーションの代替手段が貧弱
- ・ 危険を察知する理解力が限定的
- ・ 訴える権利についての意識が低い

言語コミュニケーションは時間がかかることもあり、話を聞いてもらえないなど、

認知機能の偏りから、正確な情報なのかどうか信じてもらいにくいのです。

また、見た目には、服装が乱れている、足を開いて座っているなど、知らず知らず「誘っている」と誤解を与えるようなことをしている場合もあるでしょう。

知的能力の程度や認知特性の表れ方の違いなどによって、一概には言えませんが、判断力の弱さは改善されないもので、騙されやすいという面があります。「寂しさ」から、不倫などで男性から言葉巧みに利用されることがあります。新聞に載るような事件の被疑者の女性が、実は発達障害だったということがありますが、発達障害の部分は報道されることはありません。

近年、犯罪加害者に発達障害者が多いという風評が流布されていますが、発達障害の人は、加害者よりも被害者が多いことを知っていただきたいと思えます。

また、知的障害のある人で性教育を受けた経験がある、もしくは、親が性についての価値観を話したことがある場合、そうでない人よりも知識力があり、傷つきやすいという報告もあります (Murphy2003)。

そうしたことから、彼女たちには理解しやすい方法で、性の知識を教えてあげることが効果的であるとわかります。